



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月8日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 修次
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長 (氏名) 吉本 清志 (TEL) 03(5962)1119
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	51,062	△0.7	2,664	6.3	2,774	5.5	1,606	4.9
27年2月期第2四半期	51,446	7.1	2,507	10.2	2,629	15.6	1,531	41.3

(注) 包括利益 28年2月期第2四半期 1,769百万円 (9.1%) 27年2月期第2四半期 1,622百万円 (22.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	28.87	—
27年2月期第2四半期	27.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第2四半期	57,476	30,151	52.5	541.97
27年2月期	62,805	29,992	47.8	539.12

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 30,151百万円 27年2月期 29,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	26.00	26.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	4.7	5,600	7.5	5,700	4.9	3,400	6.5	61.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期2Q	59,948,294株	27年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	4,316,062株	27年2月期	4,315,842株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期2Q	55,632,342株	27年2月期2Q	55,632,542株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注高および売上高の状況	12
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注高および売上高の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	51,446	51,062	△384	△0.7
営業利益	2,507	2,664	156	6.3
経常利益	2,629	2,774	145	5.5
四半期純利益	1,531	1,606	74	4.9

当第2四半期連結累計期間（平成27年3月1日～平成27年8月31日）におけるわが国経済は、企業収益が総じて改善傾向にあるなか、雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復が持続しております。

乃村工藝社グループ（以下「当社グループ」といいます。）を取り巻く事業環境におきましては、訪日外国人の増加などを背景に、商業施設を中心とした新装・改装需要が比較的堅調に推移しており、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、エンドユーザーの視点に立ってお客様の事業繁栄を実現する「プロスペリティ・パートナー」への進化の追求に向けて、中期経営計画（平成27年2月期～平成29年2月期）に則り、「ナンバーワンの価値の連鎖」をテーマに、お客様への提供価値の向上を目指してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は510億62百万円（前年同期比0.7%減）となり、前年同期並みの実績を残すことができました。利益面におきましては、採算を重視した受注の徹底や原価低減への継続した取り組みなどが寄与し、営業利益は26億64百万円（前年同期比6.3%増）、経常利益は27億74百万円（前年同期比5.5%増）、四半期純利益は16億6百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

専門店市場につきましては前年同期に比べてわずかに減少いたしましたが、訪日外国人の増加を見越した免税店のほか、モバイル関連店舗の什器制作、アパレル関連店舗の出店や改装など、高い売上水準を確保いたしました。また、電機メーカーや住宅関連企業のショールームを手掛けた広報・販売促進市場、科学館や歴史博物館などの文化施設を手掛けた博物館・美術館市場において順調に売上が伸びました。

この結果、ディスプレイ事業の売上高は497億99百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益25億26百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

(単位：百万円)

概要		売上高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	大型書店やアパレル関連店舗のほか、免税制度の改正にともなう免税店の店舗内装制作等	21,912	21,438	△473	△2.2
百貨店・量販店市場	首都圏や地方都市の百貨店におけるリニューアル等	3,180	3,564	384	12.1
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	駅周辺や空港内における商業施設の新装や改装、空間演出等	3,902	3,979	76	2.0
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	電機メーカーや住宅関連企業のショールーム、各種展示会等	7,466	8,834	1,368	18.3
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	科学館や歴史博物館等における文化施設のリニューアル、指定管理者制度(注1)にもとづく施設の管理・運営等	3,969	5,539	1,570	39.6
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテインメント施設、動物園、水族館等)	ホテルやテーマパークのリニューアル等	4,310	2,076	△2,233	△51.8
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイベント等	278	178	△100	△36.1
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、プライダル施設、サイン、モニュメント等)	オフィスの改装や「マチハコ(注2)」を利用したプロスポーツ企業のグッズショップ設置等	5,179	4,187	△992	△19.2
ディスプレイ事業		50,199	49,799	△399	△0.8

(注) 1 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されている。

2 マチハコ：コンテナ的建築工法を活用した空間作りのブランド。低コストで、より短期間に、狭小かつ不定形な土地も含め、建物を設置し事業を開始することが可能。

②飲食・物販事業

羽生パーキングエリア「鬼平江戸処」(東北自動車道/埼玉県羽生市)のほか、「江戸東京博物館ミュージアムショップ」(東京都墨田区)や「名古屋市科学館ミュージアムカフェ&レストラン」(愛知県名古屋市)など、飲食、物販の各店舗運営などを手掛け、売上高は12億62百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は1億74百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は574億76百万円（前連結会計年度末比53億28百万円減）、負債は273億25百万円（前連結会計年度末比54億87百万円減）、純資産は301億51百万円（前連結会計年度末比1億58百万円増）となりました。

総資産は、前期末完成工事の代金回収により、受取手形及び売掛金等が減少したため、減少しております。

負債は、工事関係の債務支払により、支払手形及び買掛金等が減少したため、減少しております。

純資産は、配当金の支払いがありました。四半期純利益の計上や保有株式の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等により、増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.8%から52.5%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて19億21百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は174億26百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金納付等がありましたが、債権回収が進んだこと等により36億88百万円の収入となりました。前年同期との比較では、当期は工事関係の収支改善により増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、システム関連の設備投資がありましたが投資有価証券の償還等により24百万円の収入となりました。前年同期との比較では、前期は子会社譲渡による株式売却収入等があったため大幅に減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや借入金の返済等により18億1百万円の支出となりました。前年同期との比較では、当期は前期に比べ配当（10円増配）が多かったこと等により、増加しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月8日発表の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が254百万円増加し、利益剰余金が163百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため記載を省略しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,504	17,426
受取手形及び売掛金	19,518	12,895
たな卸資産	8,644	8,763
繰延税金資産	1,009	1,125
その他	1,232	940
貸倒引当金	△27	△18
流動資産合計	45,882	41,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,031	10,012
土地	5,463	5,462
その他	1,962	2,091
減価償却累計額	△6,761	△6,971
有形固定資産合計	10,695	10,594
無形固定資産	1,583	1,966
投資その他の資産		
投資有価証券	3,522	2,728
その他	1,468	1,406
貸倒引当金	△348	△352
投資その他の資産合計	4,642	3,782
固定資産合計	16,922	16,344
資産合計	62,805	57,476

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,203	13,132
短期借入金	261	—
未払法人税等	1,571	1,127
前受金	3,294	3,633
賞与引当金	1,033	1,180
工事損失引当金	35	21
その他の引当金	79	93
その他	3,312	1,907
流動負債合計	26,793	21,095
固定負債		
退職給付に係る負債	4,428	4,821
その他の引当金	90	108
その他	1,500	1,299
固定負債合計	6,019	6,229
負債合計	32,812	27,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	16,630	16,626
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	28,898	28,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734	865
土地再評価差額金	482	507
為替換算調整勘定	223	234
退職給付に係る調整累計額	△346	△349
その他の包括利益累計額合計	1,094	1,257
純資産合計	29,992	30,151
負債純資産合計	62,805	57,476

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	51,446	51,062
売上原価	43,304	42,004
売上総利益	8,142	9,058
販売費及び一般管理費	5,634	6,393
営業利益	2,507	2,664
営業外収益		
受取利息	16	7
受取配当金	18	31
仕入割引	43	45
その他	50	32
営業外収益合計	128	115
営業外費用		
支払利息	6	4
その他	0	0
営業外費用合計	6	5
経常利益	2,629	2,774
特別利益		
固定資産売却益	1	—
ゴルフ会員権償還益	28	—
特別利益合計	30	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	5
投資有価証券評価損	—	5
事業構造改善費用	—	135
特別損失合計	4	146
税金等調整前四半期純利益	2,655	2,628
法人税等	1,123	1,021
四半期純利益	1,531	1,606

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
四半期純利益	1,531	1,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	125	130
為替換算調整勘定	△34	10
土地再評価差額金	—	24
退職給付に係る調整額	—	△3
その他の包括利益合計	90	162
四半期包括利益	1,622	1,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,622	1,769

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,655	2,628
減価償却費	375	448
賞与引当金の増減額 (△は減少)	302	147
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	158	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	159
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△24	17
受取利息及び受取配当金	△35	△38
支払利息	6	4
事業構造改善費用	—	135
売上債権の増減額 (△は増加)	3,599	6,629
たな卸資産の増減額 (△は増加)	842	△116
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,136	△4,088
前受金の増減額 (△は減少)	333	336
その他	△651	△921
小計	4,425	5,343
利息及び配当金の受取額	30	48
利息の支払額	△0	△4
事業構造改善費用の支払額	—	△120
法人税等の支払額	△1,291	△1,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,163	3,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△146	△315
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△317	△634
投資有価証券の取得による支出	△7	△121
投資有価証券の償還による収入	—	1,050
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	5,143	—
その他	△137	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,536	24
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	58	△262
配当金の支払額	△884	△1,440
自己株式の取得による支出	—	△0
その他	△76	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△902	△1,801
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,786	1,921
現金及び現金同等物の期首残高	9,081	15,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,868	17,426

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,199	1,247	51,446	—	51,446
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	9	11	△11	—
計	50,201	1,256	51,458	△11	51,446
セグメント利益	2,348	195	2,543	△36	2,507

(注) 1 セグメント利益の調整額△36百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,799	1,262	51,062	—	51,062
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	11	15	△15	—
計	49,803	1,273	51,077	△15	51,062
セグメント利益	2,526	174	2,700	△36	2,664

(注) 1 セグメント利益の調整額△36百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

4. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	21,213	21,469
百貨店・量販店市場	3,036	3,679
複合商業施設市場	4,342	4,377
広報・販売促進市場	8,845	9,168
博物館・美術館市場	3,718	4,488
余暇施設市場	3,785	2,178
博覧会・イベント市場	216	1,005
その他市場	4,140	3,541
小計	49,300	49,908
(飲食・物販事業)	—	—
合計	49,300	49,908

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	22,622	10,102	24,533	12,934
百貨店・量販店市場	3,166	1,486	3,997	1,845
複合商業施設市場	4,598	3,317	4,136	4,180
広報・販売促進市場	9,046	6,064	10,815	5,254
博物館・美術館市場	6,012	6,368	4,608	6,210
余暇施設市場	2,502	1,446	2,887	1,990
博覧会・イベント市場	313	183	737	1,276
その他市場	3,136	2,263	4,241	4,035
小計	51,399	31,233	55,957	37,727
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	51,399	31,233	55,957	37,727

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	21,912	21,438
百貨店・量販店市場	3,180	3,564
複合商業施設市場	3,902	3,979
広報・販売促進市場	7,466	8,834
博物館・美術館市場	3,969	5,539
余暇施設市場	4,310	2,076
博覧会・イベント市場	278	178
その他市場	5,179	4,187
小計	50,199	49,799
(飲食・物販事業)	1,247	1,262
合計	51,446	51,062

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別 (ディスプレイ事業は制作品別) の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	20,707	20,568
展示制作	10,802	12,002
環境演出制作	2,313	2,296
販促品制作	998	533
企画・設計・監理	4,059	5,361
その他	10,419	9,147
小計	49,300	49,908
(飲食・物販事業)	—	—
合計	49,300	49,908

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載していません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	19,415	10,555	24,312	16,499
展示制作	11,255	8,048	14,360	10,080
環境演出制作	1,399	834	2,238	945
販促品制作	2,006	1,320	489	57
企画・設計・監理	5,422	5,870	5,179	5,099
その他	11,900	4,604	9,376	5,045
小計	51,399	31,233	55,957	37,727
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	51,399	31,233	55,957	37,727

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	22,506	20,407
展示制作	10,162	11,834
環境演出制作	2,349	2,297
販促品制作	725	559
企画・設計・監理	3,261	4,926
その他	11,192	9,773
小計	50,199	49,799
(飲食・物販事業)	1,247	1,262
合計	51,446	51,062

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。